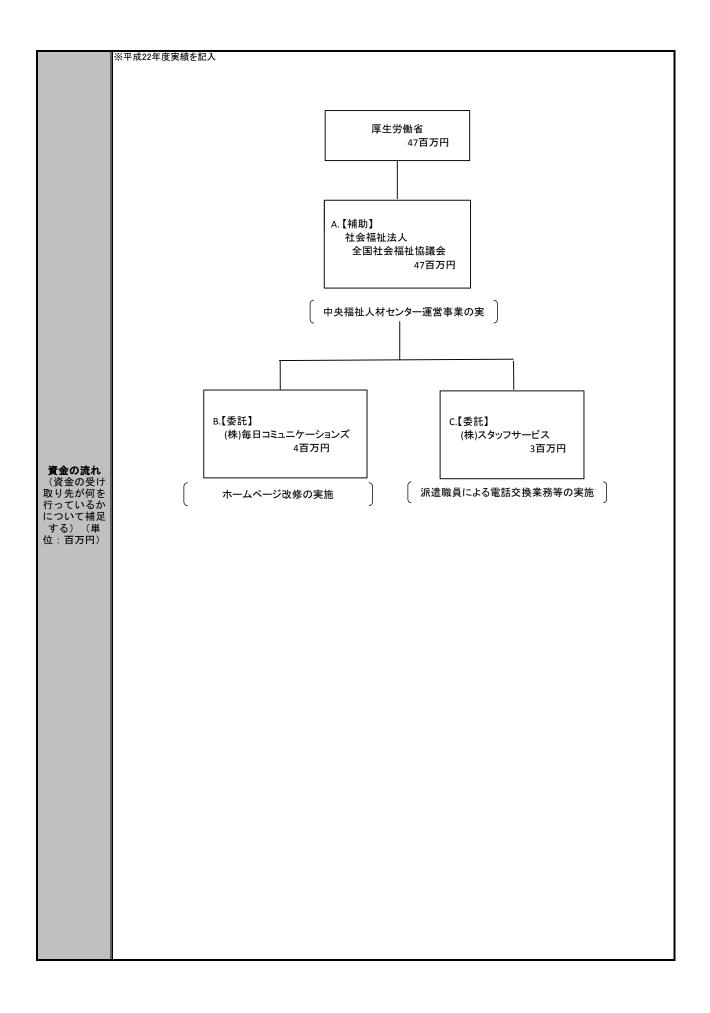
393

		平成23年行政事業							し	レビューシート			(厚生労働省)			
事	業名		中央福	量祉人材セン	/ター:	運営事業費		担当部	局庁		社会	. 援護局		作月	戊責任者	
	開始・ 定)年度			平成5年度~		担当認	担当課室		福祉基盤課			定塚 由美子				
会計区分		一般会計			会計			施策			止サービスを支 基盤整備を図る		養成、利用者保護等			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		社会福祉法第99条及7				び第100条		関係する計 画、通知等			・社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に する基本的な指針(平19.8.28厚労告289) ・民間社会福祉事業助成費補助金交付要綱			の措置に関		
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		社会福祉事業従事者の確保を図ることを目的として設置された都道府県福祉人材センター等の業務に関する連絡及び援助を行うこと等により、都道府県福祉人材センター等の健全な発展を図るとともに、福祉・介護人材の確保を推進することを目的とする。														
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		社会福祉法に基づき設置されている中央福祉人材センターにおいて、全国的な福祉人材情報システムの運営や、各都道府県福祉人材センターの職員研修会や全国会議、ブロック会議の開催、また福祉・介護分野の人材確保にかかる調査等の実施により、福祉・介護人材の確保に関するノウハウの伝達に努め、各都道府県福祉人材センターの業務を支援している。 補助率:定額														
実施	地方法	□直接実施]業務	業務委託等 ■補助		■補助]貸付	口その他]その他			
						20年度		21年度			22年度	23年	23年度		24年度要求	
		予		切予算		61		60			47	39		39		
予算額・	r #看 。	算の		E予算					_	<u> </u>						
執	行額	状	繰起	越し等												
(単位)	:百万円)	況	計 61			60			47	39		39				
		執行額		額		61		60	60		47					
		執行率(%)		(%)	100%		100%	00%		100%						
ch ## F	目標及び	月		成果	果指標			単位	立	20年度	21年度	22年	度	目標値 (毎年度)		
成男	は保及び 見実績 ・トカム)	福祉人材情報システ			・ムにおける採用者数			成果実績	人		7,086	7,841	9,38	2	前年度人数	
					., _0			達成度	%	•	84%	111%	120	%		
		活			動指標				単位	立	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込	
活動	旨標及び 助実績 トプット)		福祉	人材情報システムにおける			活動実績(当初見込	人		49,591	65,865	80,76	00	_		
		紹介人			·応募人数 		み)					(87,600)		(99,335)		
単位当たり コスト		5, 039(円/採)			用者1	者1人あたり)		算出根拠 22年度予算額 47,277千円 / 22年度採用者数 9,382人								
	費	目	· .	23年度当初	予算	24年度要求	:	,			主	な増減理由				
2		■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■		39 39 0		〇中央福祉人材センターが都道府県人材センターに対して指導を行うための経費を増額										
2 3 •						○「介護の日」フォーラムの開催にかかる経費を減額										
4 年																
度予																
算内																
訳																
	計			39	3	9										

		事業所管部局による点検						
	評価	項目	特記事項					
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。						
犬・兄予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。						
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。						
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
流れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。						
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
•	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか						
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
点検結果	検 ○当該事業は、平成20年度から23年度にかけて予算額を36%削減しており、十分な削減努力が見られる。 ※平成20年度予算額61 4324円 → 平成23年度予算39 4804円 (▲21 9524円 ▲36%)							
	1	予算監視・効率化チームの所見						
,	一 部 改 善	本経費については、経費の内容を精査し、必要性の見直し、優先順位を何	けけるなどにより効率化を図ること。					
	i	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概)	算要求における反映状況等)					

補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)



	Α.	社会福祉法人 全国社会福祉協議会	숲	E.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	八十頁	職員俸給、諸手当、社会保険事業主 負担金 等	22			(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	广 费	借料及び損料(事務機器等リース代)、 印刷製本費 等	9					
		委託先:(株)スタッフサービス他1社 職員派遣業務	7					
	委託料	委託先:(株)毎日コミュニケーションズ HP改修 等	7					
	諸謝金	職員研修講師等謝金	6					
	委員等旅費	職員研修講師等旅費	2					
	職員旅費	プロック連絡会議等出張旅費	1					
	計		47	計		0		
		B.(株)毎日コミュニケーションズ	A 55		F.	1 人 #=		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	その他	ホームページ改修	4					
費目・使途								
(「資金の流れ」 においてブロッ								
クごとに最大の金額が支出され								
ている者につい								
て記載する。費目と使途の双方								
で実情が分かる ように記載)								
	計 ————————————————————————————————————		4	計 		0		
		C.(株)スタッフサービス	金 額		G.	金額		
	費目	使途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)		
	その他	派遣職員による電話交換業務等	3					
			3	 計		0		
	н	D.		HI.	Н.			
	費 目	使途	金 額	費 目	使 途	金 額		
	Х 1	K &	(百万円)	Х 1	K &	(百万円)		
	計		0	計		0		
	I		J			ū		

支出先上位10者リスト A.

10

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会福祉法人 全国社会福祉協議会	中央福祉人材センター運営事業の実施	47	-	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 B.

 支出先
 業務概要
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 (株)毎日コミュニケーションズ
 ホームページ改修の実施
 随意契約 (利用者の 利便性を考慮し、データ の継続性も ため。)

 2
 1
 1

 3
 1
 1

 4
 1
 1

 5
 1
 1

 6
 1
 1

 7
 1
 1

 8
 1
 1

 9
 1
 1

支 出 額(百万円) 入札者数 落札率 支 出 先 業務概要 (株)スタッフサービス 派遣職員による電話交換業務の実施 3 3 _ 2 3 5 6 7 8 10